



みさごたより

2021. 9.27 (月)



薩摩川内市立里小学校

Espressivo Part 9

文責：永野
No.12



宮沢賢治の世界(ゼロ弾きのゴーシュ) 読書の秋 特集 その1 まずこの詩から

雨にも負けず
風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだをもち
欲はなく
決して怒らず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ
あらゆることを
自分を勘定に入れずに
よく見聞きしわかり
そして忘れず
野原の松の木の影の
小さな萱ぶきの小屋にいて

東に病気の子供あれば
行つて看病してやり
西に疲れた母あれば
行つてその稲の束を負い
南に死にそうなる人あれば
行つてこわがらなくてもいいといい
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめるといい
日照りの時は涙を流し
寒さの夏はおろおろ歩き
みんなにデクノボーと呼ばれ
褒められもせず
苦にもされず
そういうものに
わたしはなりたい

* デクノボー(木偶の坊)「役立たず」の意味

そうだ、9月21日は宮沢賢治の命日(亡くなった日)だ…。ふと思い賢治さんの作品を紹介して
みようと思いました。宮沢賢治さんは、大正～昭和初期の詩人、童話作家です。岩手県の花巻市出



身で、一時東京に出て作品を書き続けますが、妹さんの病気を機に、岩手に帰り農業学校の先生をしたり、冷害に悩む農家の方たちのために土地改良や農民指導に熱心に取り組んだりしました。ただ、病弱な中無理を続けたため37歳という若さで亡くなってしまいます。

賢治さんの作品は、東北地方の自然と生活を題材としながら、宗教心と科学精神に裏付けられた
独特な世界観があります。そして深い信仰心に基づく宇宙観(広ーい世界の考え)にもつながって
います。それなのに…彼の作品は彼が生きている時は、ほとんど認められませんでした。

彼の名前が次第に知られるようになり、たくさん本として読まれるようになったのは、彼が亡くな
った後のことです…。最初に紹介した有名な詩も、

(裏面へ つづく)

彼が生きていたとき家族ですら、こういう文章があること自体知りませんでした。彼が亡くな
って半年後東京で、亡くなった賢治さん^{まね}をしのぶ会が開かれ、その時招かれた賢治さんの弟さんが
賢治さんが使っていたカバン^{いひん}（遺品）を持ってきました。そこに居合わせた人がカバンのポケット
から、偶然黒い手帳をみつけ、その中にメモとして「雨ニモマケズ」が書かれていました。

メモは亡くなる2年前、死ということ意識した病気の療養中^{りょうよう}に書かれたものです。この詩自体
が、これほど世間に知れ渡ったことには賢治さんが一番驚いているかもしれません。

私はこの詩を読み、最後の一節・・・ 賢治さんの気持ちに、ぐっと引き込まれてしまいます。

そういうものに わたしはなりたい

(サウイフモノニ ワタシハ ナリタイ)

みんなは、どんな印象をもつのでしょうか???



さて、そういう賢治さんの作品の中から、今回は低学年生でも読める
童話を紹介します。タイトルは「セロ弾きのゴシュ」です。

このお話は、まだ映画に音がでなかった大正時代、映画に合わせて
音楽を演奏する楽団がありました。その中でセロ（チェロ）を担当す
るゴシュくんが主人公なのですが、彼は演奏がうまくありません。
演奏会で演奏するベートーヴェンの交響曲第6番「田園」^{こうきょうきょく}を練習して
いる時のことです。指揮者の楽団長さんからは、「表情というものがま

るできてない」「怒りも喜びも… 君だけとけた靴ひもをひきずって、みんなのあとをついて
あるいてるみたいだ」と言われてしまいます。

落ち込み、こころをよけい閉ざしてしまうゴシュ君。そんなゴシュ君
のもとに賢治さんは、ねこ、カッコウ、たぬき、ねずみ といった動物たちを
送るのでした。



私がこの作品に初めて出会ったのは、音楽大学に進学した1年目、実は本ではなく、アニメ映画
でした。大学の作曲の授業を担当していた先生が、「きみたち音楽を志す若者にはぜひ見てほしい」
と大学の授業で見せてくれたのです。アニメというのは、時間だったりお金の制約があり、作る人
たちが、思うような本当にいいものを作れない… 「自分たちだけで、時間やお金に関係なく、自
分たちが納得いく本当にいい作品を作ろう」 そういう思いで、当時各分野の一流の方たちが集ま



り、選んだ台本が、この「セロ弾きのゴシュ」でした。
監督は、若き日の 高畑勲さん^{たかはたいさお}で、全編を通してベートー
ヴェンの「田園」交響曲が響きわたるのです。
(「火垂るの墓」「アルプスの少女ハイジ」の監督さん)

私が音楽を教えていたときは、大学の先生の気持ちを受
け継ぎ、ずっと授業で生徒たちと見てきた作品でもありま
す。みんなとも、どこかで上映会しないそうですね。
^{じょうえいかい}

賢治さんの作品、学校の図書室にコーナーがありますか
ら、他にも「注文の多い料理店」「よだかの星」等々 ぜひ、読んで見てくださ